

12月4日(水)、第7回学校経営研修会が行われました。開会の挨拶では、石田和義 県小学校長会会長より、来年度に向けて「今日的課題と改革の方向性の確認」として話がありました。多様化する子どもたちと社会の変化に対して学校経営をどのように進め改善を図っていくのか、急増する不登校児童や特別の支援を必要とする児童、外国人等の日本語指導が必要な児童等、すべての子どもたちの学習権の保障をどうするのかなど、直面する今日的課題に対して、これからはコミュニティ・スクールを生かして地域住民や社会人等の人材を活用した学校づくりが求められているのではないかと提起されました。



その後、教職員課、教育みらい室小中学校課教育力向上担当、児童生徒支援担当より指導講話がありました。また、各部会からの報告・連絡がありました。



後半は、滑川市小学校長会より「探究・科学教育の推進」というテーマで提案発表がありました。

滑川市では、平成29年度から令和2年度まで特別の教育課程「科学の時間」を実施しており、その後第5次滑川市総合計画が策定され、「学校教育充実」の中の取組の一つに「科学の時間を実施し、地元企業や団体と連携し、科学・理数・ものづくり教育を推進する。」と掲げられました。そこで、小・中学校9年間の一貫した教育とするために協議会を設置するとともに、教務主任や研究主任、情報担当がそれぞれ中心となる3つの部会を立ち上げ、カリキュラムの検討や探究学習の取組、ICTの効果的活用について取り組んできたとのことです。また、昨年度から、科学の時間の中に自由裁量の時間を設け、これまで以上に児童生徒が自ら課題をもち、解決方法を考え、互いに話し合い、方向性を見直すなど、自己調整しながら学習を進めることができるようにされたとのことです。課題として、教員が活動の意味や意義を共通理解し、学校として持続可能な取組を目指していくことが重要であると報告がありました。

【報告】

富山市立豊田小学校長 松倉 美香 県小教研会長が、11月27日に文部科学省より「教育者文部科学大臣表彰」を受章されました。研修会に先立ち、松倉校長より、受章への思いについてお話をいただきました。誠にありがとうございます。

